

2023年4月26日  
東京電力ホールディングス株式会社  
福島復興本社

福島復興本社における  
賠償・環境再生・復興推進等に関する取り組み状況  
～福島復興への責任を果たすために～

- 原子力損害賠償の進捗状況 \_\_\_\_\_ 1 ～ 2
- 福島復興へ向けた取り組み \_\_\_\_\_ 3 ～ 7

# 原子力損害賠償の進捗状況について

<原子力損害賠償のご請求・お支払い等実績>

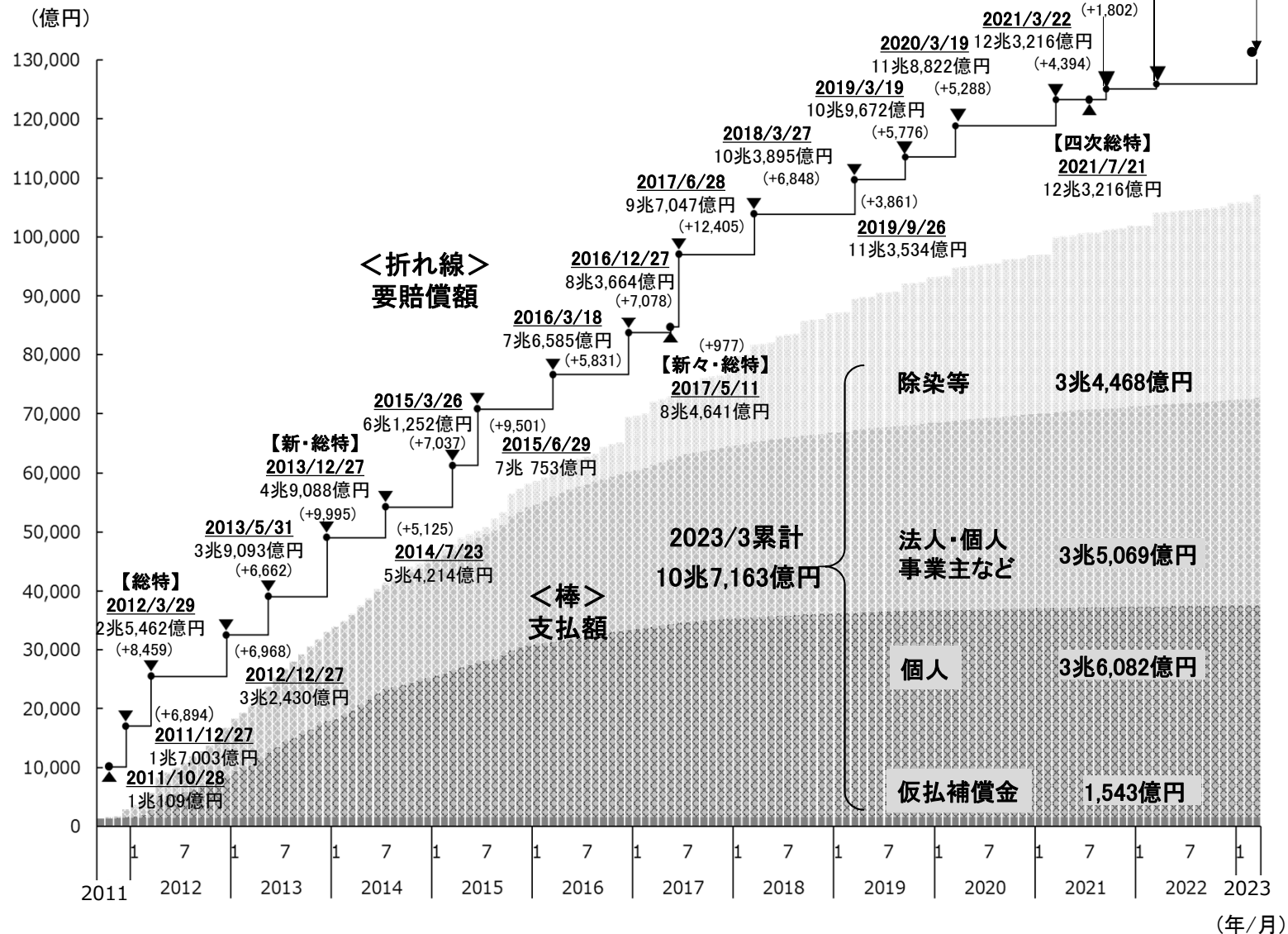
2023年3月31日現在

	個人 ※1	法人・個人 事業主など ※3
<b>ご請求について</b>		
ご請求書受付件数(延べ件数)	約2,460,000件	約553,000件
<b>本賠償の状況について</b>		
本賠償の件数(延べ件数)	約2,320,000件	約474,000件
本賠償の金額 ※2	約3兆6,082億円	約6兆9,538億円
<b>これまでのお支払い金額について</b>		
本賠償の金額 ※2		約10兆5,620億円 ①
仮払補償金		約1,543億円 ②
お支払い総額		約10兆7,163億円 ①+②

※1 個人の自主的避難等に係る損害を含んでおります。

※2 仮払補償金から本賠償に充当された金額は含んでおりません。

※3 除染等費用を含んでおります。



<賠償項目別の合意金額の状況>

	要賠償額<A> (2023年3月24日資金援助額変更申請)	賠償合意実績※ (2023年3月末現在)
<b>I. 個人の方に係る項目</b>	<b>24,776億円</b>	<b>20,139億円</b>
検査費用等	3,511億円	2,832億円
精神的損害	13,612億円	10,961億円
自主的避難等	4,915億円	3,624億円
就労不能損害	2,737億円	2,721億円
<b>II. 法人・個人事業主の方に係る項目</b>	<b>34,033億円</b>	<b>32,622億円</b>
営業損害	5,600億円	5,564億円
出荷制限指示等による損害及び風評被害	19,910億円	19,536億円
一括賠償（営業損害、風評被害等）	3,341億円	2,634億円
間接損害等その他	5,181億円	4,887億円
<b>III. 共通・その他</b>	<b>22,641億円</b>	<b>19,995億円</b>
財物価値の喪失又は減少等	15,586億円	14,875億円
住居確保損害	6,804億円	4,870億円
福島県民健康管理基金	250億円	250億円
<b>IV. 除染等※2</b>	<b>50,587億円</b>	<b>34,468億円</b>
<b>合計</b>	<b>132,039億円</b>	<b>107,226億円</b>

※1 振込手続き中の方も含まれるため、これまでのお支払金額とは一致しません。

【B/A 81%】

※2 閣議決定及び放射性物質汚染対処特措法に基づくもの。

<ご案内を開始している主な賠償項目>

	個人	法人・個人事業主
2011年	8月:個人本賠償 (精神的損害・就労不能等に伴う損害・検査費用・避難・帰宅、一時立入費用・生命、身体的損害等)	9月:法人本賠償 (営業損害・出荷制限指示等による損害・風評被害・間接損害等)
2012年	2月:自動車に対する賠償 自主的避難等に係る損害に対する賠償 7月:建物の修復費用等に係る賠償	2月:自動車に対する賠償 12月:償却資産および棚卸資産の賠償
2013年	3月:宅地・建物・借地権等に係る賠償、家財の賠償 11月:田畑に係る賠償	3月:宅地・建物・借地権等に係る賠償 11月:田畑に係る賠償
2014年	1月:精神的損害(要介護者さま等への増額)に係る賠償 3月:移住を余儀なくされたことによる精神的損害に係る賠償 早期帰還に伴う追加的費用に係る賠償 避難指示解除後の相当期間に係る賠償、仏壇の賠償 4月:住居確保に係る費用の賠償 7月:墓石等の修理に係る賠償 9月:宅地・田畑以外の土地および立木に係る財物賠償、自主的除染に係る費用の賠償	9月:宅地・田畑以外の土地および立木に係る財物賠償 自主的除染に係る費用の賠償
2015年	2月:家財の個別賠償 3月:福島県の避難指示区域以外の地域における立木に係る財物賠償 4月:墓石等の移転に係る賠償 6月:避難指示解除準備区域・居住制限区域における精神的損害の追加賠償	3月:避難等対象区域内の農林漁業以外の事業者さまに対する仮払 福島県の避難指示区域以外の地域における立木に係る財物賠償 6月:新たな営業損害賠償等
2016年	2月:住居確保費用(持ち家)の賠償における賠償上限金額の見直し	12月:農林業者さまに対する2017年1月以降の営業損害賠償等
2017年	2月:住居確保費用(持ち家)の賠償における賠償上限金額の見直し	12月:平成30年以降の避難指示区域外の農林業における風評被害
2018年	1月:移住を余儀なくされた区域における住居確保にかかる費用の賠償のお取り扱い 3月:2018年4月以降における個人さまの避難・帰宅等にかかる費用の賠償のお取り扱い	8月:2019年以降の避難指示区域外の農林業における風評被害
2019年	2月:住居確保費用(持ち家)の賠償における賠償上限金額の見直し 9月:消費税率引上げにともなう住居確保費用(持ち家)の賠償における賠償上限金額の見直し	
2023年	3月:中間指針第五次追補決定等を踏まえた精神的損害等に対する追加の賠償	

<ADRの対応状況>

2023年3月31日現在

申立件数		29,201件
解決件数	全部和解件数	28,012件
	取下げ件数	22,289件
	打切り件数	3,226件
	却下・和解の仲介をしない	2,495件
		2件
現在進行中の件数		1,189件

※申立件数のうち、当社に送達がなされているのは28,940件(3月31日現在)、月平均で約103件(2023年)

※現在進行中の件数のうち、16件は一部和解が成立している

※和解金額は約3,492億円

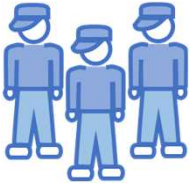
出典:原子力損害賠償紛争解決センターHPより

# 福島復興へ向けた取り組み

## 福島復興へ向けた取り組み実績

### ■ 2023年3月までの実績

#### 環境再生・復興推進活動



**活動人数**  
**1,101,634人**  
(前月比+4,801人)

復興本社設立(2013年1月)からの累計

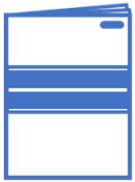
#### 環境再生・復興推進活動



**対応件数**  
**6,405件/年度\***  
(前月比+837件)

※2022年度の累計

#### 原子力損害賠償



**賠償お支払総額**  
**約10兆7,163億円**  
(前月比+1,247億円)

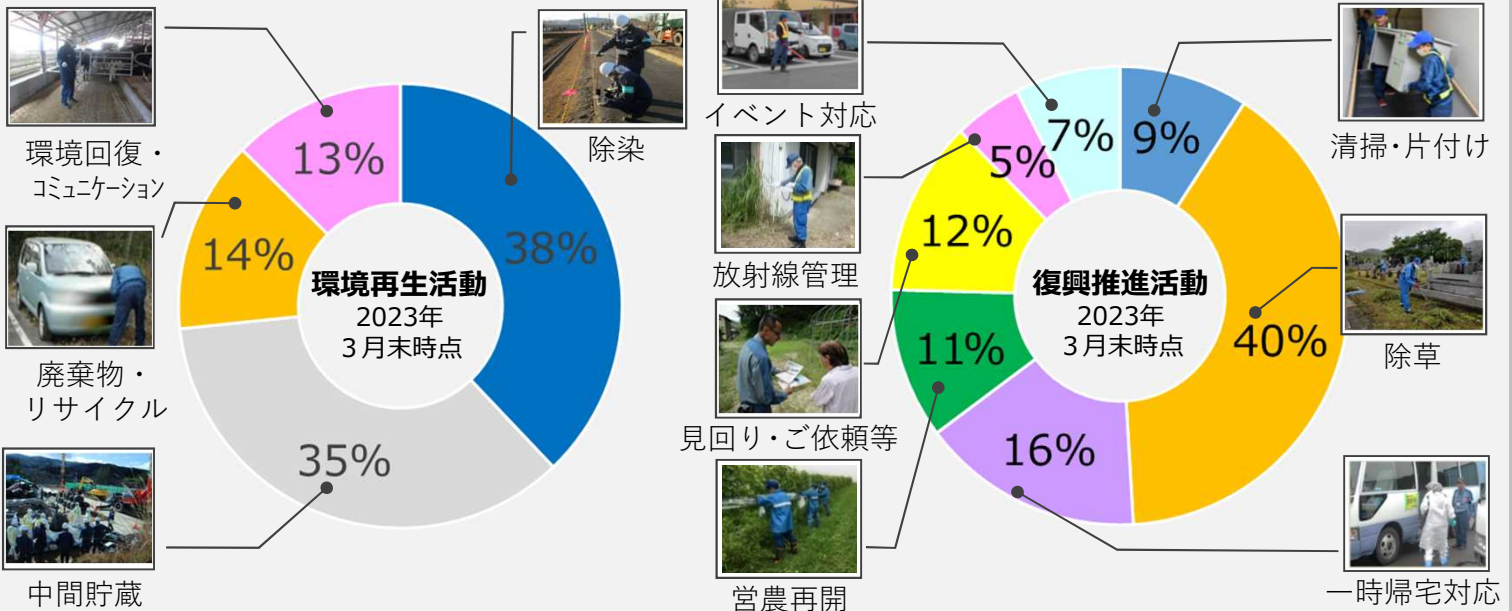
#### 流通促進活動



**イベント開催日数\***  
**28,114日**  
(前月比+1,124日)

ふくしま流通促進室発足(2018年2月)からの累計  
※イベント開催・・・試食販売会・飲食店フェア等

### ■ 環境再生・復興推進活動の業務別割合



### ■ 今後の主な活動予定

【凡例】【環】・・・環境再生活動 【復】・・・復興推進活動 【流】・・・流通促進室活動 【他】・・・その他

【復】5月地域行事・イベントへの協力

【流】5月の福島県産品販売会の主な開催予定

#### 【小売店催事】

- ①ニュー・クイック 小田急新宿店様 5月5日(金)～5月6日(土)
- ②シャポ-船橋様 5月26日(金)～5月28日(日)
- ③スーパーマーケット リオン・ドール様(68店舗) 5月19日(金)～5月22日(月)
- ④スーパーマート様(36店舗) 5月27日(土)～5月29日(月)

#### 【イベント】

- ⑤海の幸まつりin道の駅ふくしま 5月20日(土)～5月21日(日)
- ⑥PLAY PARK FUKUSHIMA IN 四季の里 5月27日(土)～5月28日(日)



# 福島復興へ向けた取り組み①

## 「富岡町 桜まつり2023」への協力

### 取組内容

- 4月1日に富岡町の特定復興再生拠点区域で避難指示が解除され、4月8日、9日には、旧富岡第二中学校で「富岡町 桜まつり2023」が開催されました。
- 当社は、廃炉の状況や復興推進活動を紹介するブースを出展しました。また、来場者の皆さまの誘導や会場内の片付けのお手伝いを行いました。
- 今後も地域の賑わい創出の一助となるよう、地域に寄り添ったお手伝いを継続してまいります。

## ＊ 「富岡町 桜まつり2023」 【4月8日(土)・9日(日)】 ＊

- ・ 今年は夜の森公園北側のさくら通りまで、桜並木の観桜エリアが拡大し、2日間で1万人を超える来場者が夜の森の桜を楽しんでいらっしゃいました。
- ・ 当社は、富岡町桜まつり実行委員会さまからブース出展のお誘いをいただき、富岡町内での復興推進活動の様子や、福島第一原子力発電所の廃炉に向けた取り組みなどをパネル展示やパンフレットなどを用いてご紹介しました。
- ・ また、「とみおか働く車、大集合！」と題した体験型ブースでは、当社が所有する高所作業車の展示や、碇子(がいし)を使ったアート体験を行い、多くの子供たちに楽しんでいただきました。

<桜並木ライトアップの様子(4月1日)>



<会場内の清掃>



<当社ブースの様子>



復興推進活動のご紹介



廃炉ロボット操縦体験



高所作業車の展示



「碇子」のアート体験



## 福島復興へ向けた取り組み②

福島県産品の流通促進の取り組み  
～お米・牛肉・水産品などのフェア開催（5月予告）～



### 海の幸まつり in 道の駅ふくしま

3回目の開催

日時 5月20日(土)～5月21日(日) 10:00～16:00(予定)

➤ 2022年4月にオープンした道の駅ふくしま(福島市大笹生)で、施設内飲食店様と連携し、「常磐もの」を使った「発見! ふくしま」特別メニューを提供する「海の幸まつり」を開催します。

#### イベント概要

- 「発見! ふくしま」特別メニューとして「常磐もの」を使用した海鮮丼や常磐煮干しの中華そばなどをフードコートで販売
- 相馬市観光協会様による「復活の浜焼き」の出張販売
- アクアマリンふくしま様による移動水族館「アクアラバン」の開催



会場の様子 (2022年9月)



移動水族館「アクアラバン」



浜焼きの様子



フードコートの様子

※写真はイメージです



## PLAY PARK FUKUSHIMA IN 四季の里

日時 5月27日(土)～5月28日(日) 10:00～16:00

- 福島市の四季の里で、キッチンカーによる福島県産食材を使用したメニュー販売やマルシェを開催します。
- キャンプイベントを通じて、福島県産品の美味しさをお伝えしてまいります。



会場の様子



キッチンカーの様子



会場の様子

※写真はイメージです



## 福島復興へ向けた取り組み③



福島県産品の流通促進の取り組み  
～お米・牛肉・水産品などのフェア開催（4月実績）～

4/14～4/16

### パエリア・タパス祭り2023 in 日比谷公園への出店

- ▶ 日比谷公園（東京都千代田区）で開催された「パエリア・タパス祭り」に「発見！ふくしま」4ブースを出店し、「常盤もの」の魚介類を使ったイカスミのパエリアやメヒカリのアヒージョ等を販売しました。

実績

来場者数：約7万人、販売食数：約3,100食



「発見！ふくしま」ブース前の様子



常盤ものイカスミのパエリア



メヒカリのアヒージョ

4/22～4/23

### ニッポン放送ラジオパーク in 日比谷2023への出店

- ▶ ニッポン放送様がリスナー感謝祭として開催した「ニッポン放送ラジオパーク in 日比谷2023」で「発見！ふくしま」キッチンカーを出店し、「常盤もの」などの福島県産食材を使ったメニューや日本酒を販売しました。

実績

キッチンカー：約2,000食、日本酒：約200升を販売



「発見！ふくしま」キッチンカー



日本酒ブース



イベント会場の様子



# 福島復興へ向けた取り組み④



## 2022年度海外における福島県産品の流通促進の主な取り組み

### 2022年

7月

- JA全農福島様による2カ国大使館へ「福島県産の桃」贈呈  
 <ドミニカ共和国(7/29)、オーストラリア(8/4)>

※廃炉の理解活動などでつながりのある当社が大使館との仲介を行いました。



8月

- タイで桃の販売イベント（8/11～25）

JA全農様と連携し、タイ・バンコクの高級百貨店やスーパー5店舗にて、ふくしまの桃の販売イベントを開催しました。



10月

- ベトナムで梨の販売イベント（10/22～11/27）

JA福島さくら様、イオン様と連携し、イオンモールベトナム全6店舗にて、福島県産の梨の販売イベントを開催しました。



11月

- シンガポールの「FUKUSHIMA Food Fair」への参加(11/2～8)

ジェイアール東日本企画様と連携し、シンガポールで開催されたフェアにおいて、日本酒試飲を中心にした、福島県産品のPRを実施しました。



海外4カ国に展開



「発見!ふくしま」公式キャラクター  
めっけちゃん



### 2023年

1月

- アメリカ・ラスベガスの「Winter Fancy Food Show 2023 ジャパンパビリオン」への出展（1/15～17）

日本貿易振興機構様が主催している見本市に参加し、福島県産米「天のつぶ」の試食提供を行いました。

2月

- タイで福島県産品フェアを開催（2/10～28）

バンコクにある日本食レストラン「SUSHI HIRO」様にご協力いただき、「発見!ふくしま」フェアを17店舗で開催し、福島県産の水産品や福島牛を使った期間限定メニューを提供しました。

3月

- アメリカ・ロサンゼルスで福島県産米フェアを開催（3/11～19）

日系ショッピングセンターで、福島県産米「天のつぶ」のパックライスや精米を販売する「発見!ふくしま」フェアを開催しました。

● 海外の皆さまにも福島県産品の美味しさや魅力をお届けできるよう、さらなる販路拡大に向けて取り組んでいく予定。